

近畿地方で公開する「自然災害伝承碑」



【堺市】

碑名：擁護霊（安政地震記念碑）
災害名：安政南海地震

嘉永7年（1854）11月5日（旧暦）の安政南海地震後に発生した津波が川を逆流し、堺でも8つの橋が落ち船が割れるなどの被害を受けた。しかし、住民は神社の広い境内に避難するなどして怪我をした人もいなかった。宝永地震（1707）では船に避難して命を落とした人も多い。地震が強いときは決して船に避難してはいけない。



【印南町】

碑名：「高波溺死靈魂之墓」碑
災害名：宝永地震

宝永4年10月4日（1707年10月28日）午後0時半ごろ大地震があり、山が崩れ、地が裂けた。午後1時半ごろ、でこぼこした津波が、海から揚がって来た。家財や牛馬はもちろん、老いた人や若い人、男や女も溺れて亡くなった人は170人を超えるぐらいである。津波の高さは札之辻で約180cm、この碑の場所で約60cmに達し、現在の大字山口との境まで到達した。

碑名：南山城水害記念碑
災害名：南山城水害



昭和28年（1953）8月15日未明、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中しており、棚倉地域では24名が死亡、家屋流出19戸全壊家屋30戸であった。

【木津川市】

碑名：災害記念塔
災害名：南山城水害



昭和28年（1953）8月15日未明、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により天神川、不動川など旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中した。

碑名：水害記念碑
災害名：南山城水害



昭和28年（1953）8月15日午前4時、南山城地方を襲った前日からの集中豪雨により鳴子川など旧山城町の4つの天井川が決壊し、死者32名、負傷者602名という大災害が起こった。とりわけ、天井川に囲まれた棚倉地域、高麗地域に被害が集中しており高麗地域の北河原区では7名が死亡した。